

科 目 名	老年期理学療法学【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	宮 原 洋 八						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	老年学を基に加齢に伴う問題から、老年期障害の測定と評価ついて学習する。 また、老年期障害に対する理学療法には、生活機能・社会参加が重要であることを理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	1）老年期の内外調査やデータから高齢者の正しい理解をする。 2）障害モデルから機能的状態を評価することを理解する。 3）生活機能・社会参加が重要であることを理解する。 4）目的別に沿って理学療法治療学を理解する。						
学 習 方 法	講義（演習を含む）						
テキスト及び 参考書等	テキスト：宮原 洋八著 「高齢者障害の理学療法」 大学教育出版 2009						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎				50	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	○				40	
授業態度			○			10	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	高齢者とは						
第 2 週	統計から高齢者を知る						
第 3 週	健康について						
第 4 週	障害とは						
第 5 週	高齢者の評価						
第 6 週	運動機能について						
第 7 週	生活機能について						
第 8 週	ライフスタイルについて						
第 9 週	理学療法の機能的帰結						
第 10 週	高齢者の理学療法 1						
第 11 週	高齢者の理学療法 2						
第 12 週	目的別理学療法 1（疼痛）						
第 13 週	目的別理学療法 2（身体活動量を高める）						
第 14 週	目的別理学療法 3（内部障害）						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	授業内容は変更することもある。						